

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館  
電話 03 (3451) 6377 Fax03 (3451) 6277  
愛知版編集 愛知県平和委員会  
〒461-0004 名古屋市中区葵 1-22-26  
電話052(931)0070 Fax052(933)3249  
E-mail: post@peace-aichi.net

## 3・1ピキニデー集会 市民活動が平和な世界を築く

核兵器のない世界へ、非核平和の日本、核被害の廃絶をめざしてをテーマに、2月28日から3月1日まで静岡市と焼津市で、3・1ピキニデーが行われ、愛知県からは愛友会2人を含む112人が参加しました。

28日に行われた原水協集会では、日本被団協の田中事務局長から「目の黒いうちに、核兵器廃絶への道筋を確かめたい」とヒバクシヤ国際署名の推進を呼びかけました。

基調報告では、昨年の12月、国連総会で「核兵器を禁止しその全面廃絶に至る法的拘束力を持つ条約を交渉する国連会議の



墓参行進の出発時の愛知県代表团 3/1 焼津市

招集決議」が賛成多数で採択された状況に触れ、禁止条約が国際政治の大きな焦点となり3月に交渉が開始される画期的な情勢だと報告。3月の会議では「法的拘束力のある文書」の原則と目的、禁止の内容、実効ある法的処置などが議論され、6月の会議で結論が出される予定です。禁止条約が実効性のあるものとなるかどうかは、署名の力にかかっていると署名推進を呼びかけました。

討論では、アメリカのジョセフ・ガーンソン氏から、米国の状況が報告されました。トランプ政権の核増強や6兆円もの軍拡計画に現れる政策の危険性が報告されました。同時に、数百万人規模に広がったと言われる「反トランプ」を掲げる力強い市民運動の状況が報告されました。市民運動は、人権と民主主義、差別のない公正な社会を目指すとともに、「トランプに核のスイッチを持たせてはいけない」という平和運動からの要求も非常に強まったことなども報告されました。（矢野）

### ●集会に参加して

#### 大学4年・1さん

一日目に自衛隊の東富士演習場を見学しました。自衛隊の演習場へ行くことが初めてなため、動いている戦車や実弾砲撃訓練

など、見たことのないものばかりでした。とりわけ、道路沿いの電光掲示板に表示される「射撃中」という文字は、ここは憲法9条のある国なのだろうかと思わざるを得ませんでした。3・11など災害支援のため、昼夜を問わず活躍する自衛官には尊敬の念を抱きますが、今回見た戦車や「火」と書かれたトラックの荷台に積んである実弾は、災害支援とは関係のないものばかりで、自衛隊の本質は人を傷つけることだと感じました。

### 海自多目的支援艦「えんしゅう」が名港に入港

3月2日から5日に、海上自衛隊多目的支援艦「えんしゅう」が名古屋港に入港します。3日に特別公開、4日、5日に一般公開を実施しました。

それに先立つ2月23日に愛知県平和委員会は平和と憲法を守る港区連絡会、安保破壊諸要求貫徹愛知県実行委員会と共同で名古屋港管理組合に申し入れを行いました。内容は、「市民や港湾労働者の不安をかきたてるいかなる軍艦の入港も許可しないこと」「ガーデン埠頭を使った自衛艦の一般公開、とりわけ自衛官募集業務を行わないこと」です。

申し入れの中で、管理組合としては、多くに船に来てほしいので、民間の船と軍艦とは区別はしていないとのことでした。日本一の商業港に軍艦はふさわ

また、地元への補助金によって住民が分断されているため、基地に頼らない自治体になれるように地域経済についても考えていかなければならないと思います。

今回東富士演習場を見学して、自衛隊の戦闘的な本質を目の当たりにし、自衛隊が戦闘にかかわる可能性を高める安保法制を認めてはならないという思いを強くしました。

※分科会報告は次号に続く



「えんしゅう」 3/4 名港ガーデンふ頭

しくないと強く訴えました。なお4日午後の一般公開を調査しました。見学した人数は訪れた時には20数人でした。自走式のゴムボートが2艇積り、クレーンも装備されており、まさに多用途支援艦でした。

（三浦）

## 平和の声 名古屋から 世直し

いつの間にか、世の中が胡散臭さに覆われてしまったような気がしています。プーチンさん、トランプさん、そして安倍晋三さん。その方々を支える勢力には、歴史修正主義、極右、ネトウヨなど、あまり目にしたくもない形容詞で形容される人々が多そうです。

話変わって3月5日小牧基地公開日、ブルーインパルス危険な飛行やめよとスタンディングをしていた女性が突き飛ばされ、という事件が起きました。加害者は警察に突き出されたそうですが、基地周辺住民の身になってものを見ることのできない想像力の貧しさを反省してほしいものです。

3月4日の「やめて！戦争法春の学習講演会」で元陸自レンジャー隊員の井筒高雄さんの講演を聞きました。以前から、迷彩服は災害救助に使うべきでないと思っていました。さらに大切な指摘がありました。シリアや南スーダンだけでなく紛争地ならどこでも迷彩服は、民間人と軍人・戦闘員（兵隊）を区別・識別するための重要な手がかりなのです。7日公会堂に、現場主義、対話主義、市民主義を掲げていわきまされるさんが登場しました。さあ名古屋から世直しです。（知）



# やめて戦争法 学習講演会 天白区・守山区 憲法9条をいかした国際貢献が重要

【天白区から】

3月4日、昭和田の中京大学をお借りして、「だれの子どもも死なせたくない」春の学習講演会を行い、187人が参加しました。講演は豪華2本立てで①元立教大学大学院特任教授の池住義憲さん「加害者にならない権利」②元陸上自衛隊レンジャー隊員の井筒高雄さん「南スーダンPKOと自衛隊の『駆けつけ警護』『宿营地の共同防護』でした。」

池住さんは2008年の自衛隊イラク派兵差止訴訟を振り返りながら安倍政権で起こっていることの意味を再確認。クイズも有りのユーモアたっぷりの講演に、一番大切にしたいものに立ち戻ることがひどすぎる現状に立ち向かう力になる、無力感を克服する技と納得。

井筒さんは中国脅威論に対して①自衛隊の軍事力では中国軍には太刀打ちできない②日本の周囲は海なので守りにくい③原発が54基もありその安全保守に軍がコミットできていない④食料自給率が低すぎて輸入を止められたらアウトの4点を挙げ、中国に限らず戦争をしたら日本は必ず負ける国だ、だからこそ9条が大切だと言われたのがとてもスッキリでした。

今回の企画で中京大学や昭和田区、瑞穂区などたくさんの方々の協力関係ができたことがまた新しい展開が期待できそうで嬉しいことでした。(天白の会 岩佐佳代子)



講演する井筒さん 3/4 中京大学

【守山区から】

守山平和委員会は5日、戦争法廃止！憲法を守り生かす守山共同センターと共催で、元レンジャー隊員の井筒高雄さんを招いて、春の学習講演会をおこない、33名が参加しました。講演に先立ち、会員の城下さんが陸自第10師団の実態についてパワーポイントを使い報告しました。

井筒さんは「自衛隊の海外派兵を考えるとPKO参加5原則と南スーダンの実態」と題して講演しました。「専守防衛」のためだけに命を差し出す自衛隊が、PKO法による「国際協力」の名のもとに海外に派遣され、「安保法」で戦争にも参加することに。南スーダンは、PKO5原則からは言えば退すべきですが、それは20年前

のルールです。政府軍とはいえ、いつ反政府軍になるかもしれない南スーダンでは、住民保護のためにならどちらの軍隊も先制攻撃の対象です。「紛争地域に行く以上死者が出ないとは言えない。過去のPKOでも文民警察や国連ボランティアで犠牲者を出している」と井筒さんは指摘します。しかし、南スーダンでは、武器使用は個人の判断。米軍では負傷兵にヒルモネ入りのキャンドーを投与し、高度な医療を衛生兵がどこにしますが、自衛隊では米軍の軍用犬以下の「究明キット」しか持たず負傷兵は放置されます。宿营地で、今していることは「自分たちを防護するための壁を作っ

## ブルーインパルス展示飛行強行に抗議

3月5日、小牧基地祭において、3年連続でブルーインパルスの展示飛行が強行されました。春日井市、小牧市、豊山町の2市1町や地元住民の反対の声を無視し、展示飛行を強行し、住民の命と暮らしを脅かした小牧基地の姿勢は、断じて許せるものではありません。

ブルーインパルスの展示飛行は12時半から約30分間行われ、昨年の6種目より大幅に増やし13種目でした。スタートするときに、急上昇したり、低空で通常よりも早い速度で飛んでいたりしました。昨年以上に危険な飛び方をしていて、本格的なアクロバット飛行に、少し近づけられています。

ている」と聞けば、何しに行っているのかと思いますが、それでも続けるのは、南スーダンで日本製の武器を使わせ売り込むためと、国民を戦争に慣れさせるためだと看破します。このまま派兵を続けられれば、沖縄の米兵犯罪のようなことが自衛隊員によっておこるかもしれない。過酷な戦争体験でPTSDや自殺する隊員を出さないため、市民と野党の共同で今の政権を変えるしかない」と結論付けました。

(戸谷)



講義活動 3/5 小牧基地正門前

小牧基地正門前では昨年と同様、抗議活動が行われ、地元住民をはじめ小牧平和県民集会実行委員会と

## 名古屋革新市政の会総会 市長選で岩城正光氏の 自主的支援を決定

名古屋革新市政の会は2月21日、労働会館で総会を開催し、市長選挙(4月9日告示、23日投票)で前副市長の岩城正光氏を自主的に支援することを決めました。岩城氏とは会に結集する11の団体、地域、分野で話し合いを重ね、市内の平和委員会も懇談に参加してきました。話し合いでは氏の人の意見を聴く姿勢や給食費無料化など子どもへの貧困解決への熱意など評価できるものでした。また「河村市長の南京虐殺否定発言を撤回させる会」の質問に対しても氏は文書で「河村発言には与しない」と回答しています。

一方、政策で一致しない課題も残されており、共同の合意には至りませんでした。革新市政の会としては河村市政からの転換を図るために、より幅広い共同を追求する立場から、意見の一致しない問題については運動を強め実現をめざすとともに、岩城氏の必勝を期して市長選のスタートをきりました。(片岡)

不戦ネットワークが共同し、約30人が集まりました。抗議行動は、「ブルーインパルスの展示飛行反対」「キケン ブルーインパルス 住民の頭上でアクロバット飛行やめ」などと書かれたプラカードや横断幕を掲げて、アピールしました。6万人余りが来場する中で、展示飛行を反対する声を届けることができました。(山本)